

2025年6月18日

各位

SBI岡三アセットマネジメント株式会社
株式会社SBI証券

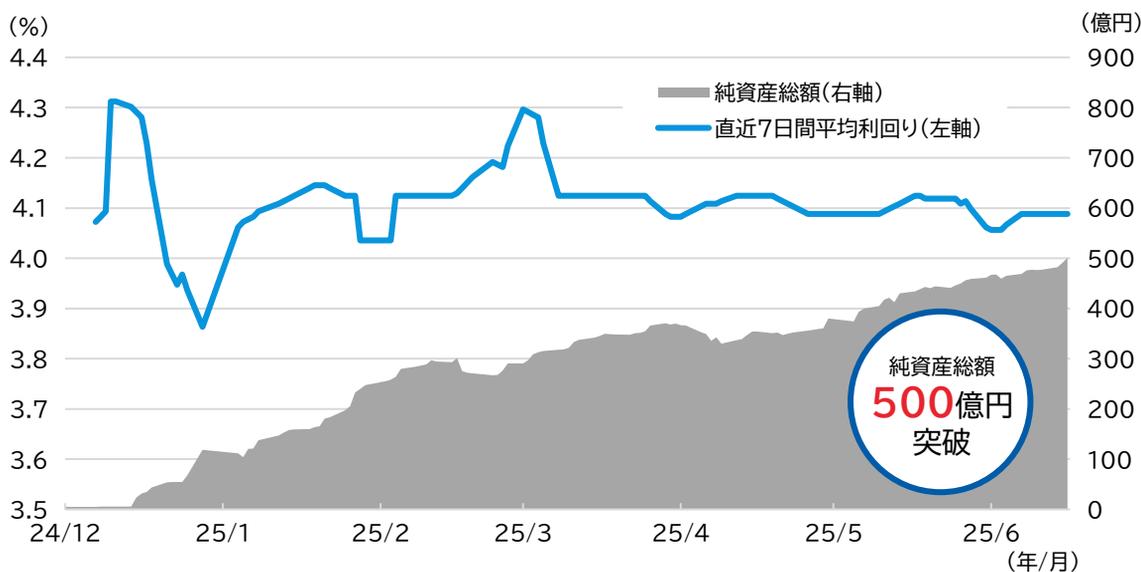
**SBI岡三アセットマネジメントが運用する米ドル建てMMFが
純資産総額500億円(3.45億米ドル)を突破
～米ドルを眠らせないMMFで効率運用～**

SBI岡三アセットマネジメント株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:塩川克史、以下「SBI岡三アセットマネジメント」)が2024年12月3日(火)に設定した「SBI岡三・グローバル・ファンド・シリーズ - USドル・マネー・マーケット・ファンド」(以下「当ファンド」)が2025年6月18日、運用開始以来約6カ月で純資産総額500億円(3.45億米ドル)を超えることとなりましたのでお知らせいたします。(1米ドル=145.36円で円換算、2025年6月18日時点)

当ファンドは、主に高格付けの米ドル建て短期金融商品に投資することにより、元本の確保(米ドルベース)と流動性の確保を図りつつ、短期金融市場の金利に沿った安定した収益率を追求することを特徴としており、高パフォーマンスの獲得と魅力ある商品開発でチャレンジを続けるSBI岡三アセットマネジメントを投資運用会社、革新的で良質な金融商品の提供に努めるSBI証券を代行協会員および販売会社とする、SBIグループの2社が共同で取り組む米ドル建て契約型外国投資信託です。

米国の短期金利は主要先進国の中でも高い投資魅力を持ちます。SBIグループでは米ドル建てMMFを通じて多くの投資家のみなさまの資産形成に貢献できると考えており、今後とも「顧客中心主義」のもと、お客さまのニーズに合わせて長期の資産形成に資する商品・サービスを提供していきます。

■ 設定来の利回りと純資産総額の推移 (2025年6月18日時点)



※期間: 2024年12月3日～2025年6月18日、日次

※直近7日間平均利回り: 年換算利回り(税引前)の推移(設定日から7日目の2024年12月9日以降のデータを表示)

※純資産総額: 各時点における対顧客電信売買相場の仲値で円換算

※グラフは過去の実績であり、将来の運用成果を示唆または保証するものではありません。

■「SBI岡三・グローバル・ファンド・シリーズ - USDドル・マネー・マーケット・ファンド」の概要

ファンドの特色 <当ファンドは米ドル建ての短期金融商品に投資します>

主な投資対象	米国債、国際機関債、政府機関債、社債、コマーシャルペーパー、銀行預金、譲渡性預金証書(CD)など
分配方針	日々分配を宣言し、宣言された分配金(源泉税その他税金を控除後)は毎月の最終取引日に再投資します。 * 将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
信託期間	ファンドの存続期間は定められておりません。 ◆ 信託証書に定める一定の場合には終了されます。また、ファンドの受益証券の発行済総数が2,000,000,000口を下回り、管理会社が受託会社および投資運用会社と協議の上、ファンドの終了を決定する場合には終了されます。

<金融商品取引法等に係る表示>

商号等 SBI岡三アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者
登録番号 関東財務局長(金商)第370号
加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

商号等 株式会社SBI証券 金融商品取引業者、商品先物取引業者
登録番号 関東財務局長(金商)第44号
加入協会 日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本STO協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人日本暗号資産等取引業協会

<SBI証券における手数料等及びリスク情報について>

SBI証券の証券総合口座の口座開設料・管理料は無料です。

SBI証券で取り扱っている商品等へのご投資には、商品毎に所定の手数料や必要経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等は価格の変動等により損失が生じるおそれがあります(信用取引、先物・オプション取引、商品先物取引、外国為替保証金取引、取引所CFD(くりっく株365)では差し入れた保証金・証拠金(元本)を上回る損失が生じるおそれがあります)。各商品等への投資に際してご負担いただく手数料等及びリスクは商品毎に異なりますので、詳細につきましては、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法等に係る表示又は契約締結前交付書面等をご確認ください。